

貴社の意見が 中継輸送の ミライをつくる!

働き方改革に向けて
ご協力を
お願いします!



コネクトパーキング岡山・早島 利用意向に関するアンケート調査



中継輸送拠点の整備に向けて、トラック企業の皆さまのご意見をお聞かせください!

＼ アンケートへのご協力が、よりよい物流の未来につながります! ／

中継輸送拠点とは?



長距離輸送を効率化するために、
荷物やドライバーを中継する
拠点のことです。

なぜ必要?



ドライバーの負担軽減や
労働時間の改善につながり、
物流の安定化を目指します。

あなたの意見が



現場の声をもとに、使いやすく
効果的な拠点整備を進めます。

＼ 簡単! ／
5分で完了!



アンケートへのご協力を
お願いいたします!

回答期限: 2026年9月11日(金)まで

※いただいたご意見は、今後の施策検討の参考とさせていただきます。

アンケートはこちらから



一般国道2号 コネクtpパーキング岡山・早島 整備計画(概要)

- ・物流業界の「2024年問題」に対応するため、働き方改革に向けた取組みを速やかに実施する必要がある。
- ・物流事業者からの中継地としてのニーズが高い岡山県内に、中継拠点となる「コネクtpパーキング岡山・早島」を整備することで、ドライバーの労働環境の改善を推進する。

1. 事業概要

- ・整備箇所
：岡山県岡山市南区箕島
・延長：約0.5km

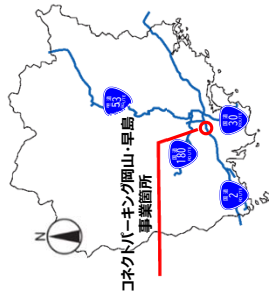


図1 広域位置図

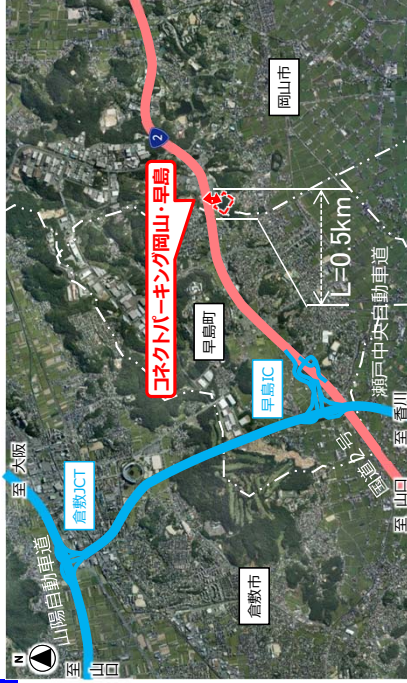


図2 周辺位置図

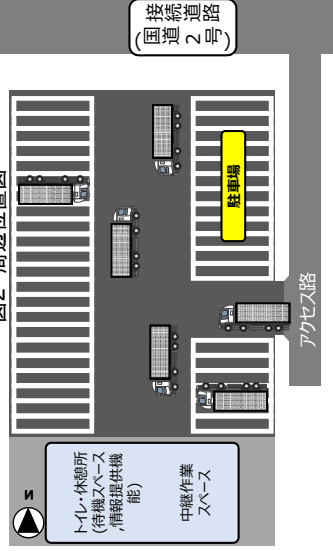


図3 整備イメージ

・管理運営方法は、PFI・コンセッション(公共施設等運営権)制度等の活用も念頭に入れ、効率的・効果的な管理・運営を検討予定。(図4、5)

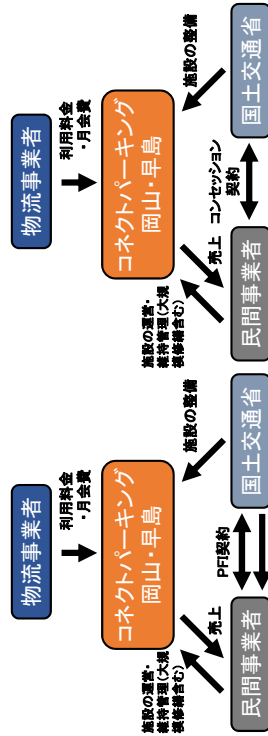


図4 PFI方式のイメージ



図6 施設イメージ

2. 課題

①働き方改革・2024年問題※への対応

- ・労働時間の上限規制を遵守しながら現在と同水準の物流を確保するための施策として、一つの行程を複数人で分担する「中継輸送」が期待されている。(図7)

※2024年問題とは、働き方改革関連法によって2024年4月1日以降自動車運転業務の年間時間外労働時間の上限が960時間に制限されることによる発生する問題の総称のこと

②中継輸送拠点の不足

- ・現在、国内の中継輸送拠点は静岡県のコネクtpエリア浜松のみ整備済。令和5年度に広島県のコネクtpパーキング宮島が事業化(図8)。
- ・中継輸送の普及には、更なる拠点的整備が必要。
- ③高まる中継輸送のニーズ

- ・岡山県を通過する貨物輸送を行う企業※のうち約7割が中継拠点を利用したいと回答。
- ・日帰り運行による業務効率化・健康維持等が期待されている。(図9、10)

※岡山県に隣接する福山市発着の企業は対象外

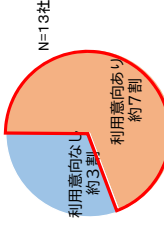


図9 岡山県内での中継拠点の利用意向

3. 整備効果

効果1 トラックドライバーの労働環境の改善

- ・中継輸送の活用によって、運行時間の短縮や、日帰りができる乗務が増加することで、労働環境の改善や新たな人手の確保が期待される。

効果2 中継輸送ニーズへの対応

- ・ニーズの高い岡山県内かつ高速道路直近に整備することで、中国圏・四国圏・近畿圏で中継輸送が実施しやすくなる。

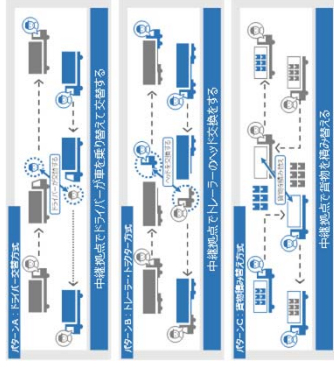


図7 中継輸送の方式

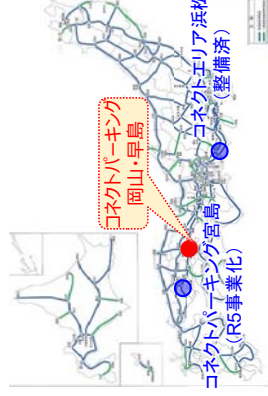


図8 全国の中継拠点整備状況

- ・積載率の向上やドライバー拘束時間の削減につながる
- ・日帰り運行可能となり、余剰車両を別業務に当てる事が可能
- ・長距離運転減少による健康維持が期待できる
- ・自社以外の協力会社の確保が課題

図10 中継輸送に関する物流企業の主な意見

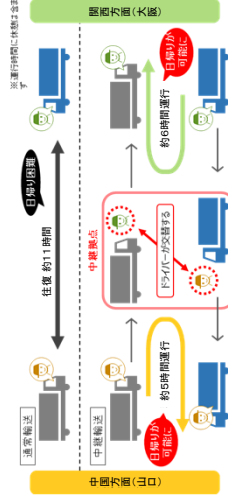


図11 中国～関西の中継イメージ